



【忍者修行 その1 綱渡りの術】



【湯あみの術 ドラム缶風呂体験】



【忍者修行 その3 薪割り】



【こども忍者認定式】

4. 成果と課題

(1) 成果

- 2日間の体験・宿泊を通して、子供たちの「できた！」という喜びと自信を感じることができた。
- ルールを守りながら、友達と一緒に忍者修行や宿泊を経験することで、物事のやりとりや仲間への接し方を学ぶことができた。
- 綱渡りや木登り等、自然を活用した遊びを通して、子供たちが諦めずに物事に挑戦しようとする姿を見ることができた。
- 忍者修行の技を通して学んだことを生かして、休み時間には自分たちで遊びを考えて遊びを楽しむことができた。
- 子供と親が向き合うことができ、有意義な時間を過ごすことができた。

(2) 課題

- 「忍者になる準備をしよう」について、1時間の中で、「手裏剣・手甲・頭巾・忍者服」をつくるには時間が短すぎた。忍者グッズを4つつくらずに、3つにしぼるべきであった。
- 昼間の「忍者修行」の活動について、前半4つ・後半4つの活動を行ったが、子供達が活動するには時間がタイトであり、活動をせかす形になってしまった。前半3つ・後半3つに活動を絞り、子供たちの活動の時間を確保する必要がある。

親の学びプログラムについて